



ボランティア精神

ボランティアとは、①自主性：自分から進んで、②無償性：無給、金儲けではない、③利他性：自分を犠牲にしても他人の利益を図る、この性格を持った活動をボランティア活動と言います。

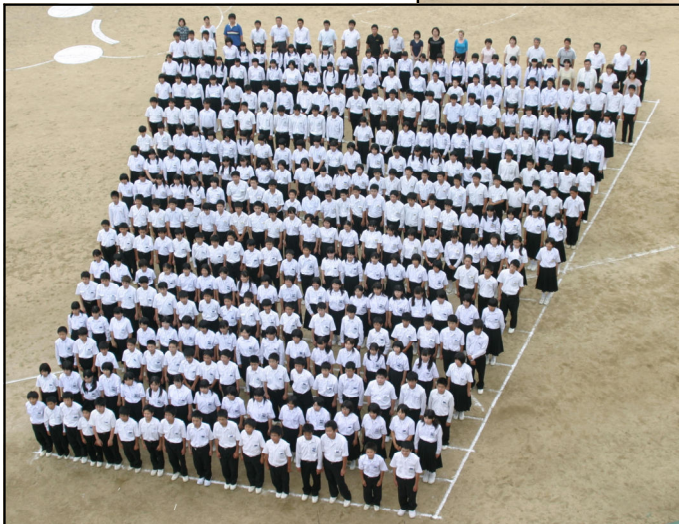
ところで、江戸時代に「五人組」というのがあって、「連帯責任で税を納めたり」、「互いに互いを監視しあって犯罪を防いだり」して、武家政治の組織の中に組み込まれていた制度がありました。その五人組が果たしていた機能はそれだけではなく、「地域の助け合い活動」にも大きい役割を果たしていました。すなわち、ボランティア活動です。ですから、日本ではなかなかボランティアという意識が定着しませんでした。その必要がなかったのです。

そんな日本にありながら、素晴らしいボランティアをしていた人がいたのです。それは、「お接待」です。皆さんの中にも「粟島の島四国」事業のお接待に参加した人もいると思います。昔、お四国遍路をする人の中には、様々な理由で、苦行を行うことで、神や仏に願いを叶えてほしいということで、行脚する人もいました。そんな苦勞をしている人に奉仕して、元気に願いを達成してほしいと「お接待」のボランティアをしていました。それと同時に、お接待する人には「情けは人のためならず」という考え方（思想）もありました。私の父親も田畑でとれたものを持ち寄ってプレゼントしたり、食べものや飲み物などを振る舞ったりしたそうです。このような歴史を背景に、四国地方には、日本のどの地域よりもボランティア精神が根付いているということです。

7月11日(日)、詫間町では「環境美化活動」として、8時から地域で空き缶拾いなどの活動があります。夏季総体に参加しない人は、是非ボランティアに参加してほしいと思います。また、各分館ごとに年間4回行われている「資源回収」も、エコ対策に協力するボランティア活動の一環で行われている活動です。ボランティア活動の精神に基づいて積極的に参加、協力をお願いします。 ※全校集会の話から

航空写真を撮りました

7月1日、航空写真を撮りました。天候にも恵まれ、全校生徒で創り上げた「カメ太郎」がくっきりと浮かび上がりました。また、翌日には、校舎の3階から全校生徒の集合写真も撮影しました。



これらの写真については、後日注文を取る予定にしています。上空150mから人文字のみを撮影したもの、上空300mから学校全景を撮影したものなど5種類あります。ちなみに、この2枚の写真は、竹本カメラマンが屋上から撮影したものです。

撮影に当たり、朝の7時30分から10時頃まで、カメラマンがたった一人で、運動場にカメ太郎の絵を描きました。これだけ巨大な絵を、しかも誰の助けも借りずに描き上げた腕前は見事としか言いようがありません。まさしく「プロの技」です。